

(4) 複眼的な戦略の構築

事態に応じて複眼的な戦略を展開する必要がある。需給が逼迫する当面は、エネルギー構造改革を先行的に実施するためにも、ピーク時の電力供給の確保と電力コストの徹底した抑制を重視し、主に省エネ構造への転換を旨とした対策を講じる。

同時に、中長期的には、省エネルギー、再生可能エネルギー、化石燃料のクリーン化などを軸としたグリーン・イノベーションを飛躍的に加速し、新しい技術パラダイムに基づく革新的なエネルギーシステムの構築を目指さなければならない。